

第175回和光市環境づくり市民会議定例会(全体会議)要旨

日 時 令和4年6月22日(水) 午後3時～午後4時30分
場 所 402会議室
出席者 6名
 峯岸正雄、高橋勝緒、高橋絹世、友國洋、西沢和美
傍聴者 なし
事務局 環境課主幹 阿部、中島

1 開会

- 会長あいさつ

2 議題

(1)フィールドワークについて

〈事務局から説明〉

フィールドワークの内容・目的・実施手法について議論し、場所・実施時期について決めていただきたい。

(以下、前回会議で示された内容)

- ・市内ふれあいの森の視察（上谷津ふれあいの森、新倉ふれあいの森）
- ・市外のフィールドを視察
- ・参加者を募集して勉強会として実施する

(意見等)

- ・フィールドワークの参加者をオープンに募集して、当会が広がるようにしたい。
- ・市外だと朝霞市根岸台にある根岸台自然公園を見学したい。朝霞市が、どうやって緑地を取得するにいったか、経緯などを知りたい。
- ・朝霞市にも「あさか環境市民会議」があるが、(緑地の)管理方法などについて、現場を見学しながら説明を聞きたい。
- ・小さい子供がいる母親達にも、自然環境に興味を持ってもらえるよう募りたい。
- ・ごみ処理広域化を含めごみ処理に興味があるので、フィールドワークで扱えないか。
- ・和光市は環境団体間の連携が薄いので、どんな団体がどのような活動しているのか知りたい。各団体に集まってもらい、連携の場を作りたい。

(議論結果)

◎ 市内の活動団体に声を掛け、顔見知りになる場を設ける。

- ・最低5団体は集まって欲しい。
- ・第3次和光市環境基本計画41頁の環境活動団体に声を掛ける。
- ・初回は、各団体に活動について、2、3分のプレゼンテーションをしてもらう。

- ・年1度ではなく、連続的に集まってもらう。
- ・実施時期は、事務局で調整する。

(2)今後の環境づくり市民会議のあり方について

〈事務局から説明〉

来年度の活動計画に反映するため、今年度中に具体的な活動の方向性を議論していただきたい。

環境づくり市民会議には、計画を推進するための提言・点検・評価をしていただくミッションがある。環境基本計画は、地球環境、自然・景観、生活環境、環境活動の4つの柱があり、それらは網の目のように関係している。

議題(1)の議論の中にもあったが、色々なジャンルの団体が集まって話す中で、新しいニーズも生まれ、環境づくり市民会議の議論にも資するかと思う。

(意見等)

・かつては、自然環境部会、都市環境部会の2つの部会があったが、会員が減る中で残ったメンバーが自然環境の会員だった。そのため、後世に緑地を残すことが大きなテーマとなっていた。市民会議の議論の幅が広がるよう、色々な団体に参加してもらうのがいい。

(3)その他

- ・会報「環」について

修正あれば、6月29日(水)までに環境課宛連絡

市ホームページで掲載、紙面はコミュニティセンターなどに置く

3 閉会